



留学生と協力してゲームに取り組みました(頓原小学校)



交流後には笑顔で記念撮影(飯南高校)



ICTを活用して、留学生に飯南町を紹介(赤来中学校)

本町の児童生徒が島根大学の留学生と交流

6月14日水

本町が取り組む「みらい人材育成事業」の一環として、町内の児童生徒が、島根大学に留学しているミシガン州立大学の学生と交流しました。
今回の企画は、異文化についての興味・関心を高め、他国について理解を深めることなどが目的。児童生徒は、ゲームなどを通して、英語と日本語でコミュニケーションを図りました。
今後も本事業を推進し、本町から世界を舞台に活躍できる人材を育成していきます。



夏の夜空を彩る花火



多くの人でにぎわう連坦地



マジック&イリュージョンショーで大盛り上がり



飯南の夏の風物詩
半夏まつり

赤来夏まつり実行委員会の主催で、「半夏まつり」が赤名連坦地で開催されました。
当日の午前中までの大雨も、まつりが始まる頃には上がり、会場周辺は町内外から多くの来場者が訪れ、にぎわいました。
旧JRバス車庫に設けられた特設ステージでは、飯南牡丹組、飯南神楽団が会場を盛り上げました。他にもマジック&イリュージョンショーや、お笑い芸人によるライブで会場には笑い声が響いていました。

7.1
土



「社会を明るくする運動」と「青少年非行・被害防止」のメッセージ伝達式が役場本庁舎で行われました。
伝達式では、雲南地区保護司会代表の塚本良二さん(上赤名)と田村信雲南警察署署長が「犯罪・非行の防止」や「罪を犯した方の更生」、「次世代を担う青少年の健全育成」への理解と協力の願いが込められたメッセージを、塚原町長に伝達しました。
「社会を明るくする運動」は全ての国民が、犯罪や非行のない地域社会を築くための全国的な運動です。

「社会を明るくする運動」
「青少年非行・被害防止」
メッセージ伝達式

7月3日月



雲南市役所を会場に、本町と雲南市、奥出雲町の間で、次期一般廃棄物処理施設整備に向けた基本合意書を締結しました。
3市町は昨年度、可燃ごみ広域処理に向けた基本合意書を締結。不燃ごみについても、可燃ごみと同様に広域処理を実施することが有効であると判断し、基本合意書の締結に至りました。
今後3市町が連携し建設用地確保のための調整など、引き続き整備に向けた準備・検討を進めます。

次期一般廃棄物
処理施設整備に向けた
基本合意書を締結

7月4日火



いぐにやん人つなぎ基金事業
認定書贈呈式

いぐにやん人つなぎ基金事業認定書贈呈式が開催され、飯南町国道54号活性化アクションプラン推進協議会の作野広和会長から、認定書が贈呈されました。
今年度、贈呈を受けたのは2団体。平成15年頃から銀山街道ウォーキングや花道プラン、ゆきんこまつりなど赤名地区の自治活動発展に取り組む「赤名地域まちづくり連絡会」、約30年前から、子どもたちが芸術に触れる機会を創出している「子どもと生の芝居を観る会」の皆さん。両団体とも、長年取り組まれてきた活動が評価されました。



赤名地域まちづくり連絡会と子どもと生の芝居を観る会の皆さん(前列)

7.5
水



この事業認定は、平成26年度から実施。町内での交流事業や協働事業に取り組む事業者や任意団体等を表彰し、国道54号沿線を盛り上げる活動を支援するために行われており、今回も合わせて16の団体が認定されています。



事業認定の趣旨を話される作野広和会長